

自動運転っていくらなの？



4つのポイント

01

自動運転システムを 自社開発



アプリケーションを自社で開発することで、コストダウンを実現。
(Autoware不使用)

02

準天頂衛星システム MADOCA-PPPの活用



準天頂衛星システム (MADOCA-PPP) と LiDAR の両方を用いており、万が一 LiDAR からの情報がロストした際も、安全な自動運転を継続する事が可能。

03

慣性センサ (IMU) と GNSS の統合



IMU と GNSS を統合することで、3D-LiDAR の使用数を削減。
(将来的には 3D 都市モデルの PLATEAU の活用を検討中)

04

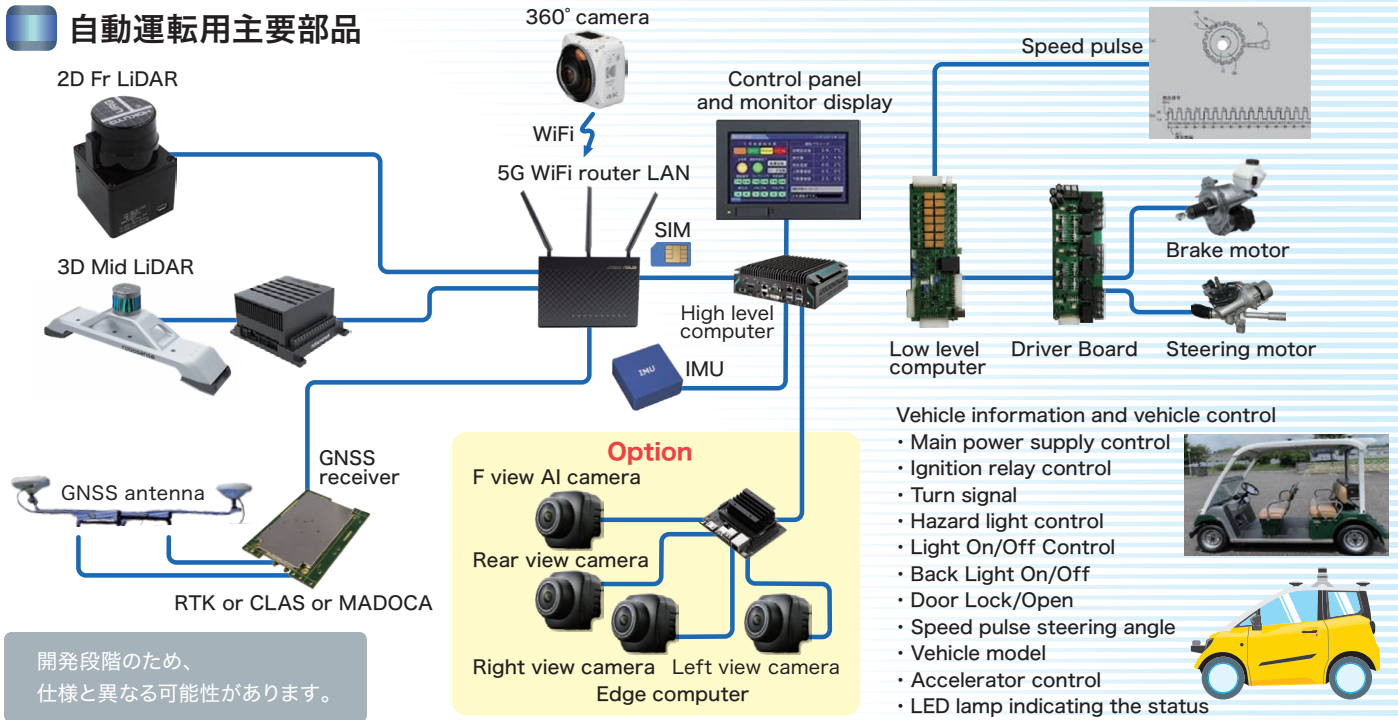
時速 30km にて 運用可能



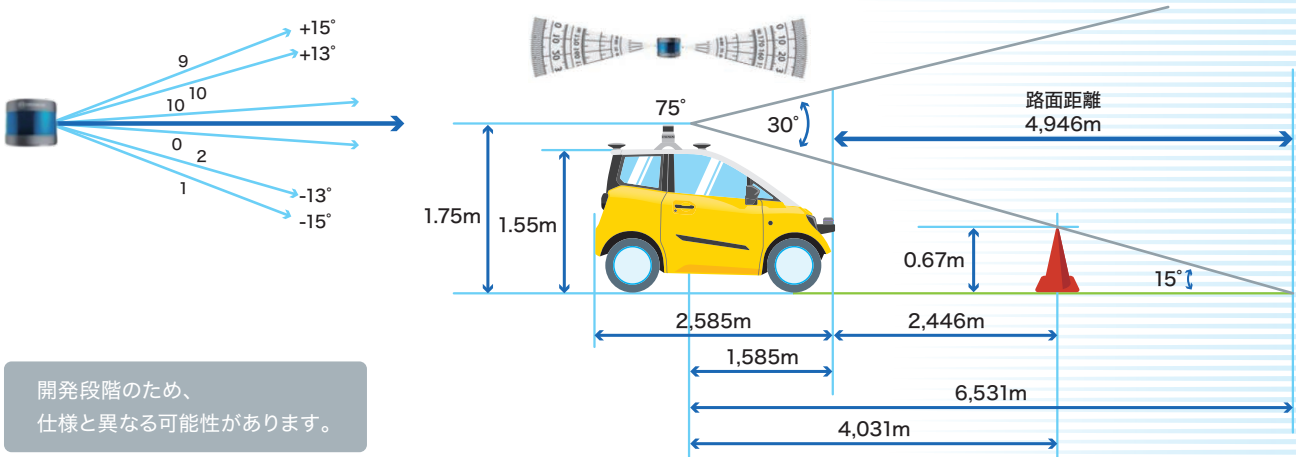
FOMM ONE をベース車両として開発したことにより、時速 30km での運用が可能。

仕様

自動運転用主要部品



LiDAR検出範囲



活用シーン

空港



滑走路の路面状態の確認や異常検知が可能です。作業時間も選ばず効率的にコスト削減も実現します。

工場



工場内の自動搬送や人の移動に活用できます。

ホテル



ホテル敷地内でスタッフやお客様の移動に活用できます。